

LIXIL ハイグリッドフェンス11型 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。

<施工上のご注意>




注意

- CZA柱の水抜き穴は、モルタル等でふさがないでください。柱が破損して、倒壊するおそれがあります。

■梱包明細書

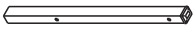


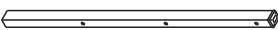
[1] フェンス

名 称	略 図	員 数
フェンス本体		1
取付説明書 (C316) ※	—	1




※取付説明書は、フェンス本体 (2枚入梱包) に1枚入っています。

■ 梱包明細書つづき






【2】 CZA柱セット

名 称	略 図	員 数			
		T-6	T-8	T-10	T-12
CZA-6柱		1	—	—	—
CZA-8柱		—	1	—	—
CZA-10柱		—	—	1	—
CZA-12柱		—	—	—	1


【3】 CZA柱用取付部品セット

名 称	略 図	員 数		
		T-6,8	T-10	T-12
フックボルト		2	2	3
上下ストレート継手		2	2	2
押え金具		4	4	4
連結金具A		—	1	1
連結金具B		—	1	1
[3-1] M6×15継手用角根ボルト		4	4	4
[3-2] M6×18角根ボルト		—	1	1
[3-3] M6用平座金		6	7	8
[3-4] M6用オープンエンドナット		6	7	8

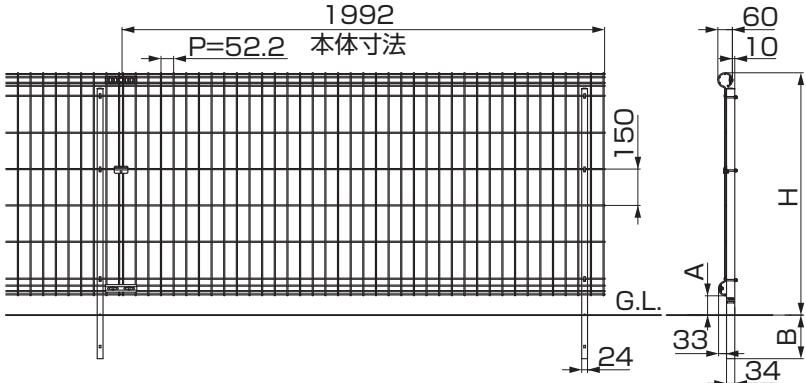
【4】 CZAコーナー継手セット

名 称	略 図	員 数
上下コーナー継手		2
押え金具		4
[4-1] M6×15継手用角根ボルト		4
[4-2] M6用平座金		4
[4-3] M6用オープンエンドナット		4

【5】 小口キャップ

名 称	略 図	員 数
小口キャップ		18

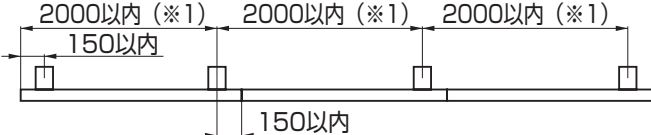
1. 基本寸法図 ※図はT-10を示します。



ポイント

● 柱芯々の寸法は2000mm以内の間隔で施工してください。(※1)

呼 称	H寸法	A寸法	B寸法
T-6	600	60	160
T-8	800	80	160
T-10	1000	80	160
T-12	1200	80	180



2. 本体の取付けおよび連結

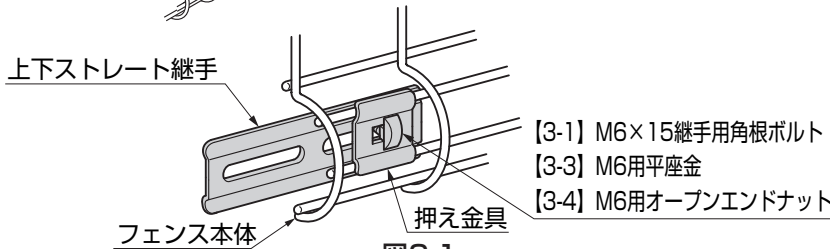
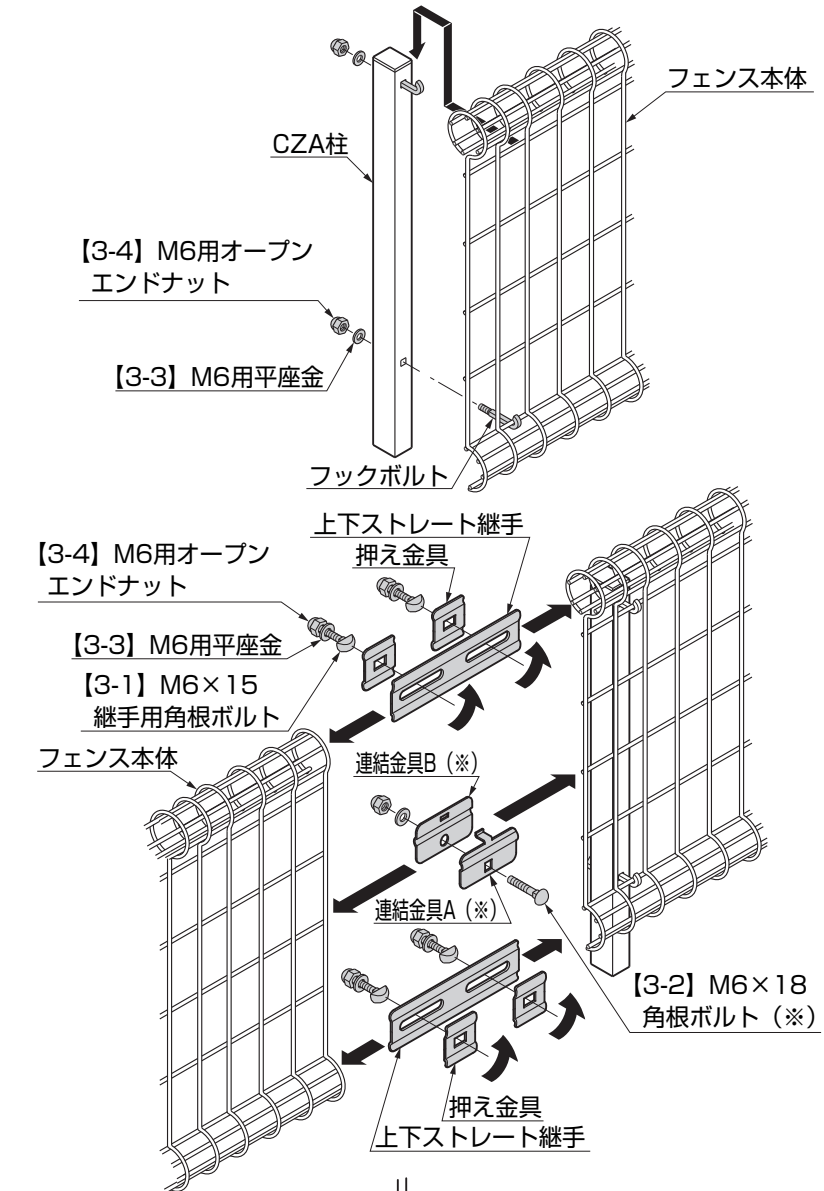


図2-1

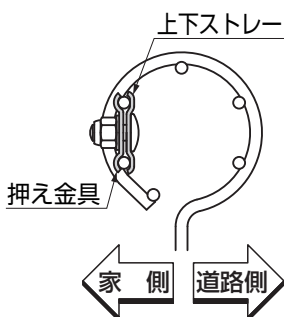


図2-2 上部

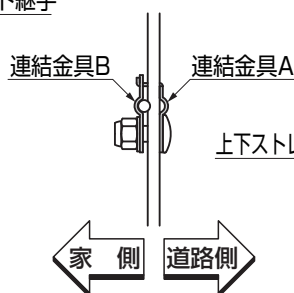


図2-3 中間部

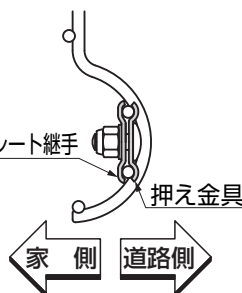


図2-4 下部

- ① CZA柱を基本ピッチ2000mm以内の間隔で立ててください。
- ② フックボルトを上向きにして、柱に仮締めしてください。

補足

- 裏側から【3-3】、【3-4】で軽く仮締めしておくと施工しやすくなります。

ポイント

- T-6、T-8、T-10、はフックボルトを2ヶ所使用してください。
- T-12はフックボルトを3ヶ所使用してください。

- ③ 仮締めしたフックボルトにフェンス本体を引っ掛けてください。

補足

- フェンス本体の片端にストレート継手を取付けておくと施工しやすくなります。

ポイント

- 本体の継目の位置は柱から150mm以内にしてください。
- 意匠の関係上、縦線がフックボルトに干渉することがあります。その場合は本体を左右にずらして取付けてください。

- ④ 【3-1】、【3-3】、【3-4】をあらかじめ仮締めし、フェンス本体どうしをストレート継手と押え金具で連結し、【3-1】を貫通させ、90°回転させた後、【3-4】を完全に締付けてください。(図2-1参照)

- ⑤ フェンス本体継目の中間部を本体連結金具A、Bで連結してください。

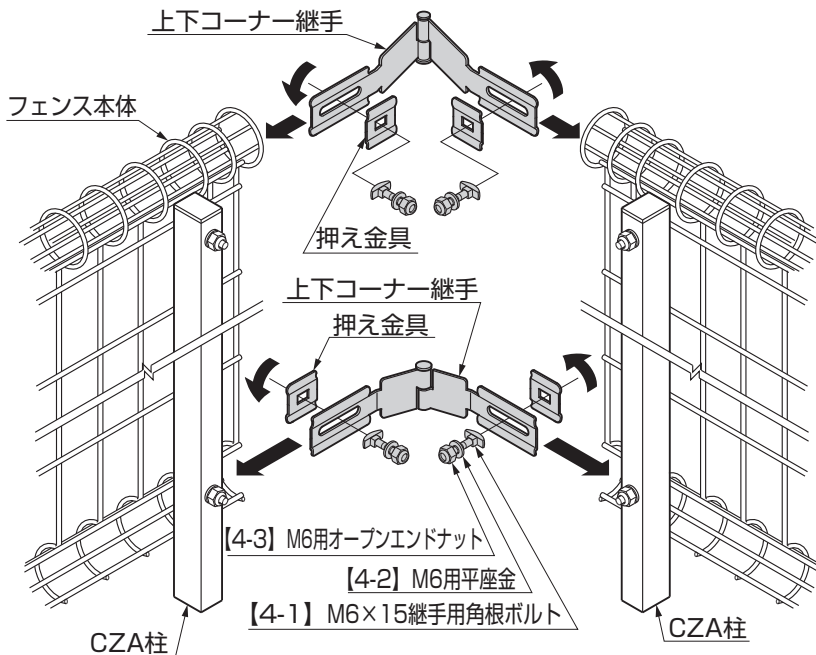
補足

- T-6、T-8には使用しません。(※)

- ⑥ すべてのボルト、ナットを完全に締付けてください。

- ⑦ フェンスの垂直、レベルを出し、柱脚部にモルタルをうめて、硬化、固定してください。

3. コーナー部の取付け



①CZA柱はコーナーをはさんで両側に立ててください。

ポイント

- コーナーの対応角度は60°~300°です。(※1、※2)
- ②フェンス本体どうしをコーナー継手と押え金具で連結してください。
- ③フックボルトおよびコーナー継手のボルト、ナットを完全に締め付けてください。

ポイント

- 上棧と下棧ではコーナー継手の表裏が変わります。

補足

- A寸法は施工時に微調整してください。(図3-1、図3-2参照)

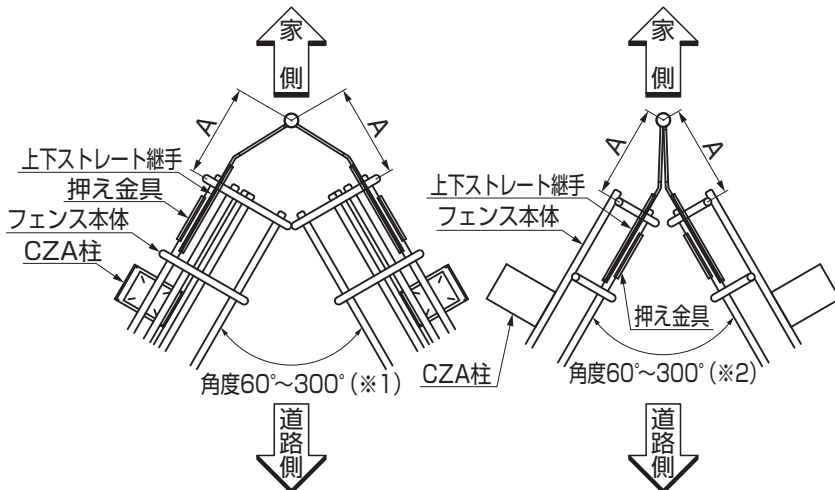


図3-1 上部

図3-2 下部

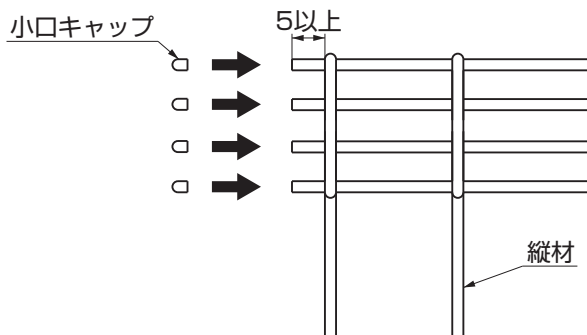


図3-3 切断部分の処理

- ④フェンス本体を途中で切断する場合は、縦材より5mm以上残して切断し、小口キャップを取付けてください。(図3-3参照)

注意

- フェンス本体を切断した時には、必ず小口キャップを取付けてください。ケガをするおそれがあります。

取説コード

C316

FVV602940D
200411A_1001
201710E_1049